

自己評価報告書

平成23年 5月26日現在

機関番号：11601
 研究種目：基盤研究 (C)
 研究期間：2008～2011
 課題番号：20530295
 研究課題名 (和文) 19世紀ドイツにおける中小産業経営の発展とその制度的基盤に関する研究
 研究課題名 (英文) the promotion policies for small business by german states in 19th century
 研究代表者
 森 良次 (MORI Ryoji)
 福島大学・経済経営学類・准教授
 研究者番号：10333999

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：ドイツ経済史、中間層、産業振興政策、大量生産体制

1. 研究計画の概要

19世紀ドイツにおける中小産業経営の発展とそれを支えた制度的基盤の解明をめざし、そのために1840年代以後南ドイツ諸邦で展開された産業振興政策に注目して、これら政策の成立背景と意図及び政策の内実を、現実の中小産業経営の展開を踏まえ明らかにする。

具体的には以下の検討課題に即して研究を進める。

- ① バーデン小営業政策の歴史的起源をなした時計産業振興策に着目し、政策意図と背景、時計工の存在形態を明らかにする。
- ② ビュルテンベルクで展開されたアメリカ式互換性部品技術の導入を梃子とした時計産業振興策の意図と背景、政策的内実を明らかにする。
- ③ ビュルテンベルクで展開された巡回講習会の内実と講習会に参加した生産者の存在形態を明らかにする。
- ④ ビュルテンベルクの産業振興政策の代表部「工商業本部」を長年指導したシュタインバイスの政策実践とそれを支える経済政策思想に着目し、これを同時代の主要な経済・社会政策思想

(経済的自由主義、中間層保護論、工場制工業推進論)のなかに位置づけ、シュタインバイスの思想的特徴を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

上記研究課題のうち課題①及び②については、分析の結果を2本の論文にまとめた。また課題③については、史料分析を終了し、これから論文にまとめる予定である。

3. 現在までの達成度

上記研究課題のうち課題①と②については、分析の結果を2本の論文にまとめた(うち1本は現在論文審査中である)。

4. 今後の研究の推進方策

ビュルテンベルクの産業振興政策の代表部「工商業本部」本部長シュタインバイスの政策実践とそれを支える経済政策思想に着目し、これを同時代の主要な経済・社会政策思想(経済的自由主義、中間層保護論、工場制工業推進論)のなかに位置づけ、シュタインバイスの思想的特徴を明らかにする。

5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計1件)
 森良次「シュバルツバルト時計産業の危機と時計工の存在形態—バーデン小営業政策の歴史的基盤の解明—」『西洋史研究』新輯第37号(2008年)(査読あり)

〔学会発表〕（計 2 件）

①「1850/60 年代西南ドイツ・ビュルテンベルクの産業振興政策―「製造のアメリカン・システム」の推進か、それとも中小産業経営の保全か―」 政治経済学・経済史学会秋期学術大会、2009 年 10 月 24 日、岡山大学

②「1850/60 年代ビュルテンベルク（ドイツ）の時計産業振興策―アメリカ互換性部品技術の導入とその挫折―」 社会経済史学会東北部会、2009 年 12 月 12 日、東北大学